

4) 仕様

出力	実効出力100W
スピーカー	30cmフルレンジ×1／7.7cmツイーター×1
コントロール	〈1～6チャンネル〉 ゲイン・ボリューム・バス・トレブル エフェクトスイッチ 〈マスターコントロール〉 ディレイタイム・ディプス・レベル ミュージックインボリューム・マスターボリューム
入力端子	〈1～6チャンネル〉 楽器・マイク兼用標準ジャック 〈マスターコントロール〉 ミュージックイン用ピンジャック
出力端子	ラインアウト用標準ジャック
スイッチ	電源スイッチ
消費電力	65W
電源	AC100V
外形寸法	495 (W) × 330 (D) × 675 (H) mm
重量	23kg

【保証書について】

- 本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。
保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入がない場合は、保証期間中でも修理が有償になる場合があります。
- 保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管して下さい。

【修理について】

- 万一異常がございましたら、直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社までご連絡下さい。



株式会社 全音楽譜出版社

本社	〒161-0034 東京都新宿区上落合2-13-3	TEL.03-3227-6270 FAX.03-3227-6276
大阪支店	〒572-0836 大阪府寝屋川市木田町12-17	TEL.072-820-3000 FAX.072-820-3210
札幌営業所	〒065-0031 札幌市東区北31条東2-1-19	TEL.011-751-5111 FAX.011-751-5200
仙台営業所	〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-18 ステーションプラザビル608	TEL.022-722-1860 FAX.022-266-1871
福岡営業所	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-9 第6グリーンビル4F	TEL.092-481-5050 FAX.092-481-5070
配送センター	〒392-0015 長野県諏訪市中洲4620	TEL.0266-52-9340 FAX.0266-52-9342

<http://www.zen-on.co.jp>

ZEN-ON MA-100



ENSEMBLE AMPLIFIER

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みいただき、正しい操作方法でご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

1) 安全上のご注意







- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守ってください。
- 本書では、危険や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

- 本書で使用する絵表示は、次のような意味です。

	警告・注意 を促す内容があることをお知らせするものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
	禁止の行為 であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

警告

 分解禁止	●感電その他傷害が起こるおそれがあります。機器を分解・改造しないで下さい。
	●この機器はAC100V仕様です。他の電圧では使用しないで下さい。
	●濡れた手でプラグや電源スイッチに触れないで下さい。感電のおそれがあります。
	●電源プラグに、ほこりやごみが付いた状態で使用しないで下さい。プラグに金属物を近づけないで下さい。火災や感電の原因になります。
 水場禁止	●機器を雨中や高温、多湿の場所、水気の近くでは使用、保管しないで下さい。
	●機器の中に異物（金属、可燃物など）、液体（水、飲料など）を入れないで下さい。機器の上に、液体の入った容器（花瓶、コップなど）を置かないで下さい。
	●機器に強い衝撃を加えないで下さい。
	●次のような場合は、ただちに電源を切って電源コードをコンセントから抜き、当社サービス窓口にご相談下さい。 ■電源コードやプラグが破損したとき ■異物や液体が中に入ったとき ■機器が、雨その他で濡れたとき ■機器に異常が発生したとき

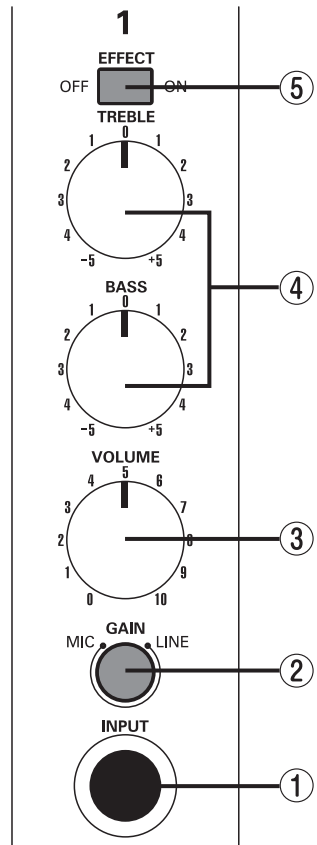
注意

 コードを持つな	●電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持って抜き差しして下さい。特に、差し込むときは、プラグを完全に差し込んで下さい。
 コンセントを抜け	●長時間使用しない場合、落雷のおそれがある場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
	●電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないで下さい。他の機器の電源コードをいっしょに束ねないで下さい。
 火気禁止	●機器には、火気による発火、変質のおそれがある部品が使用されています。火気を近づけないで下さい。
	●機器は水平な場所に設置して下さい。特にキャスター付きの機器はストッパーの併用をお勧めします。
	●機器によっては、非常に重量の重いものがあります。機器を移動させる場合は十分に注意して下さい。
	●機器の形状によっては、移動中などに思わぬけがをするおそれがあります。機器を移動させる場合は十分に注意して下さい。
	●大音量での使用は聴力に悪影響を与えることがあります。万一、聴力低下や耳鳴りなどの異常を感じたら、専門の医師に相談して下さい。

2) 特徴

楽器やマイク (6種類まで) を接続し、ミキシングができる簡単操作のマルチアンサンブルアンプです。CDプレーヤー、デジタルオーディオ等が接続できるミュージックインを装備し、音楽教室での指導、各種発表会等あらゆる用途に対応できます。

3) 各部の名称と機能



①入力ジャック

キーボード等の楽器やマイクを接続する端子です。モノラルの標準プラグ用です。プラグ形状が異なる場合は、変換プラグ等をご使用ください。

②ゲイン

入力ジャックに接続する楽器やマイクに合わせて調節します。キーボード等は中央より右方向 (半時計回り) にし、マイクは左方向 (時計回り) に回してください。つまみをマイク側に回して、キーボード等を接続すると、音が歪んだり、故障の原因となりますので、通常は右方向 (反時計回り) にしておいてください。

③ボリューム

各チャンネルの音量を調節し、他のチャンネルとのバランスを取ります。時計回りで大きくなります。音が歪むときはボリュームを下げるか、ゲインを下げてください。

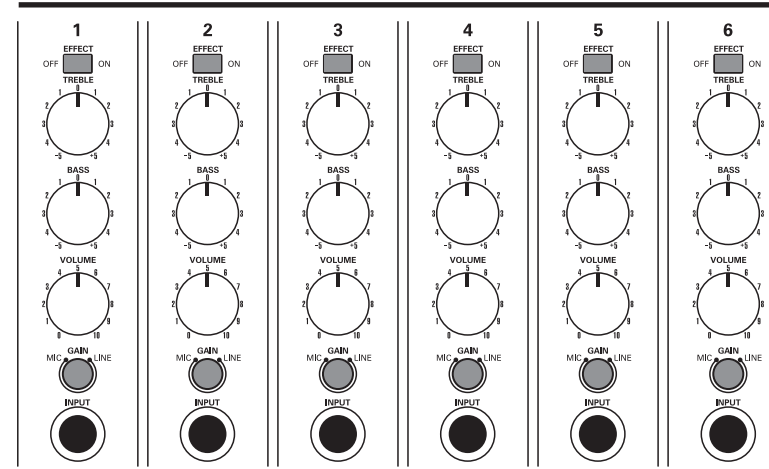
④トーン・コントロール (バス・トレブル)

各チャンネルの音質を調節します。バスで低音を、トレブルで高音をそれぞれ別々に調節できます。時計回りで強調され、半時計回りで低減されます。

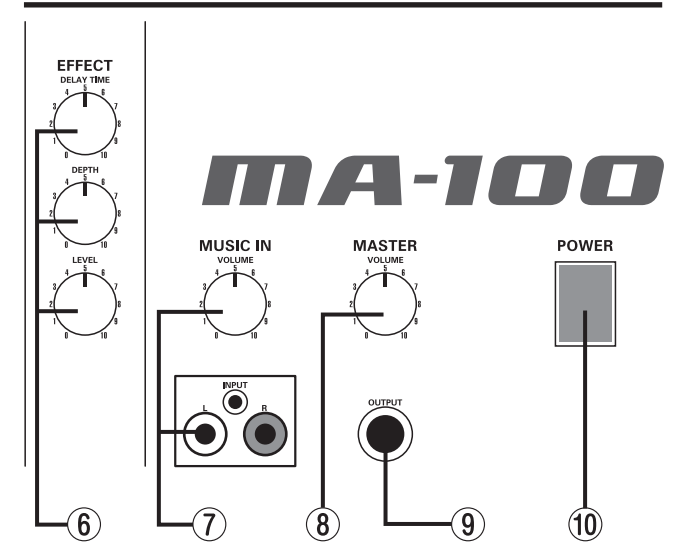
⑤エフェクト・スイッチ

マイクのボーカル等にエコー効果を付けるときに、そのチャンネルのスイッチを右にし「ON」にします。

A.チャンネル部



B.マスター・コントロール部



⑥エフェクト (エコー)

原音にDelayを掛けて遅れた音を作り、その音を原音に戻します。その繰り返しによりエコーを作ります。遅れまでの時間をDelay Timeで調節し、戻す量をDepthで調節します。エコーの音量はLevelで調節します。キーボード・CD音源等エフェクトの掛かった音の場合、効果が目立たないことがあります。

⑦ミュージックイン

CDプレーヤー等ピンプラグを接続します。音量はMusic Inのボリュームで調節します。
*必ずLR共接続してください。接続しない時はボリュームを最少 (半時計方向) にしてください。片側だけ接続したり、接続しないでボリュームをあげるとノイズの原因になることがあります。

⑧マスター・ボリューム

アンプ全体の音量を調節します。

⑨外部出力端子

別のアンプに接続したり、外部の音響装置に接続します。
*この端子はマスター・ボリュームと連動しています。
別のアンプに接続した場合、本機のマスター・ボリュームで全体の音量を変える事ができます。

⑩電源スイッチ

上を押すと電源が入りランプが点灯します。
*電源スイッチを操作するときは、必ずマスター・ボリュームを最少 (半時計回り) にしてください。

電源コード (裏面)

電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持って抜き差ししてください。使い終わりましたら、電源コードはバインダーで束ねておいてください。
*特に差し込むときは、根元まで確実に差し込んでください。

キャスター (底面)

キャスターは、レバーで車輪をロックできます。移動するときはレバーの上側を押してロックを解除してください。使用するときには、レバーの下側を押して車輪をロックしてください。ロックしないで使用しますと、振動で動くことがあります。